

井上眼科 だより

Inouye Eye Hospital NEWS

2018.01
vol.103

大宮・井上眼科クリニック

大宮・井上眼科クリニックは、井上眼科病院グループにおける埼玉エリアでの地域医療貢献を目指し、2016年6月に開院いたしました。

私自身も、職員も、初めてのことばかりで患者さまにご不便をおかけすることもあったかと思いますが、温かく見守ってくださったことに、感謝いたします。

眼は、疾患が多く症状もさまざまで、患者さまによって症状が違います。眼に不調が続くと不安になったり、生活に不便を感じるが多くなりますので、医師も職員も、患者さ



川添賢志 院長

まの声に耳を傾け、安心して受診いただけるよう心がけております。

先日ご協力いただきました「患者さまアンケート」でも、たくさんの患者さまから温かいお言葉をいただきました。しかしながら、まだまだ改善していかなければいけないこともありますので、一つ一つしっかり取り組んでまいります。

私のモットーでもある「何事も真摯に」を肝に銘じ、2018年も患者さまに安心感を持って、ご満足いただける診療を行なってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

お茶の水・井上眼科クリニック

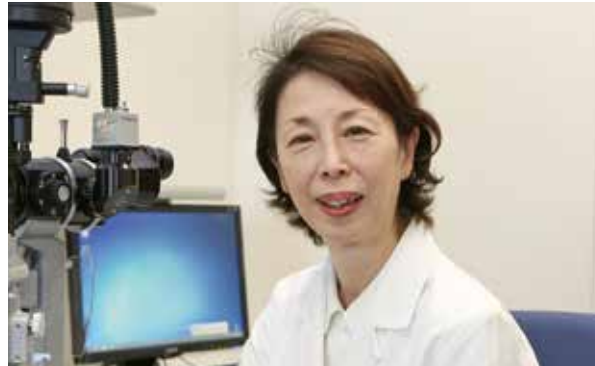
2018年がスタートいたしました。お茶の水・井上眼科クリニックは、昨年も多くの患者さまのご支援を賜り、穏やかに新しい年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

今年で開院12年目となります。井上眼科病院の外来部門を独立させた「『眼』の総合病院」として、一般眼科外来と、専門医による各種外来を充実させ、あらゆる疾患に対応しております。

さらに、2014年に開設した「屈折矯正外来・レーシックセンター」では、新たに「しわ取りボトックス注射」を始めました。目元や眉間の「表情じわ」に効果がある治療法です。お待ちいただくことなく、リラックスした雰囲気の中で受けていただくことができますので、ご興味のある方は是非お問い合わせください。(予約制)

また本年も研修医が入職いたします。上級医師の指導の下で研修してまいりますので、よろしくお願いいたします。

患者さまには、待ち時間が長く、大変心苦しく思っております。



岡山良子 院長

グループ全施設を挙げて、待ち時間対策会議を行い、少しでも短縮できるよう検討しているところですので、ご不便をおかけいたしますが、ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

一人でも多くの患者さまに当クリニックを受診してよかったと思っただけのような、患者さまに寄り添った「やさしい病院」を目指してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

お茶の水・井上眼科クリニック 屈折矯正外来・レーシックセンター からのお知らせ……

【ご予約・お問い合わせ】
0120-48-4930
午前9:00～午後5:00
(日曜・祝日・年末年始除く)

■ しわ取りボトックス注射を行なっております

お茶の水・井上眼科クリニック18階の屈折矯正外来・レーシックセンターにて、『しわ取りボトックス注射』(予約制)を行なっております。

目元や眉間にできる表情じわに効果的な治療法です。ご興味のある方は、是非お問い合わせください。

■ プレミアム白内障手術説明会

1月13日(土)15:00～ / 1月27日(土)15:30～
2月10日(土)15:30～ / 2月24日(土)15:00～

参加費無料

■ レーシック説明会

2月17日(土)15:00～

小学校で講演を行いました!

大宮・井上眼科クリニックで小児眼科外来を担当している山本智恵子医師が、小学校の授業で3、4年生に「目の役割について知ろう!」の講演を行いました。目の役割やしぐみなど、クイズを交えてお話ししました。今後も子供たちの眼の健康を守る活動をしていきたいと考えています。



ご意見・ご感想を

press-agent@inouye-eye.or.jp

までお寄せください

QRコードを
読み取ると
メールフォーム
が開きます



発行：医療法人社団済安堂 井上眼科病院
www.inouye-eye.or.jp

〒101-0052 東京都千代田区神田駿河台4丁目3番地 ☎03-3295-0911

井上眼科だより

Inouye Eye Hospital NEWS

2018.01
vol.103



井上賢治理事長(中) 井上順治院長(右) 田中宏樹副院長(左)

2018年の新しい年がスタートしました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今号の表紙に登場したのは、西葛西・井上眼科病院の井上順治院長(右)と、この度新副院長に就任した田中宏樹副院長(左)です。

西葛西・井上眼科病院は2015年に、それまで3つの施設に分かれていた病院とクリニックを統合して、現在の場所に統合・移転しました。地域に密着した一般眼科診療を行なう一方、全国トップレベルの網膜硝子体手術実績を誇ります。井上順治先生が院長に就任してから3年目となり、以前にも増して機動力が発揮されているように感じております。田中副院長の就任でさらに若い力が加わりますので、力を合わせて患者さまに安心していただける診療を続けてほしいと思います。

本年も、井上眼科病院グループは、『眼』の総合病院の確立をめざし、患者さまにご満足いただける医療サービスの提供に職員一同励んでまいります。

医療法人社団 済安堂 理事長
井上眼科病院 院長 **井上賢治**

西葛西・井上眼科病院は、井上眼科病院グループにおける網膜硝子体のセンター的役割を担っており、日々医師同士での話し合いを設け、どのような症例にも対応できるよう、切磋琢磨しています。また、小さなお子さまが多い地域性を考慮して、小児眼科外来にも力を入れ、専用の受付から検査・診察まで、周りの患者さまに気兼ねなく過ごしていただける工夫を行なっております。

この度、副院長に就任した田中先生は、2014年から当院で診療を行なっており、網膜硝子体を専門とした高度な技術を持った手術のエキスパートであり、信頼のける優しい先生です。

地元の眼科病院として、地域の皆さまの身近な存在でありながら、手術・入院もできる、設備の整った高度な治療が可能な眼科病院としても、患者さまに安心して任せていただけるよう、職員一同力を合わせてまいります。

西葛西・井上眼科病院 院長 **井上順治**

井上眼科病院グループ

Advanced medical care for all generation

INOUE EYE HOSPITAL since 1881

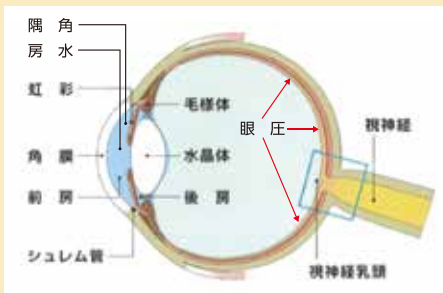
特集1 緑内障とお話

今回は私の専門でもあります、緑内障のお話です。緑内障は日本人の失明原因第1位です。病気を知っていただき、皆さんの不安を少しでも軽くできればと思います。緑内障は、点眼が大切です。改めて点眼についてもお話ししましょう。

Q. 緑内障って、どんな病気なのですか？

緑内障は、眼球の形や硬さを保つために眼の内側からの圧力「眼圧」が上昇し、後部の視神経が圧迫され視野が欠けてくる病気です。眼球を丸く保つために毎日一定量の新しい房水が眼の中の毛様体で作られ、循環したのちに隅角（房水の排水口）を通り、シュレム管（房水の排水管）から排出されます。この排出が何らかの理由で障害されると、眼圧が上がり、視神経が圧迫され徐々に失われ視野（見える範囲）が狭くなり、放置するとやがては視力も低下し、さらには失明にいたります。

緑内障は眼圧が上がることでおきる病気ですが、正常値の眼圧でも緑内障になることがあります。日本人に特に多いといわれており、眼圧だけで判断することができないため、眼科での検査が大切です。



Q. 緑内障の治療はどのようにするのですか？

緑内障により傷ついた視神経を元に戻す事はできません。治療の目的は、現状以上に視野欠損が広がらないようにすることです。そのためには、点眼薬（目薬）で眼圧を下げる薬物療法が最初に行なわれます。目薬で眼圧が十分にさがらない場合は、房水の流れを改善するレーザー治療や、溜まった房水を流す手術を行ないます。

点眼は、用法・用量を必ず守ってください。自己判断で点眼回数を変えたり、やめてしまうと、眼圧が上昇して危険なこともあるので、点眼表を作ったり、目につく場所にメモを貼るなどして、忘れないようにしましょう。

医療法人社団 済安堂 理事長
井上眼科病院 院長 井上 賢治



【目薬の上手なさし方】

- 1 手を石鹸と流水で良く洗います。
- 2 目薬を持たない方の手で、下まぶたを軽く引き、1～2滴を点眼します。
（点眼の量は、医師・薬剤師の指示に従ってください）



注意!!

- ・容器の先がまぶたやまつげに触れないように注意しましょう。
- ・複数の目薬をさすときは、間隔を5分以上あけましょう。
- 先にさした目薬が流れてしまうことがあります。

- 3 点眼後は静かにまぶたを閉じ、しばらく眼をつぶっておきます。あふれた点眼液は、点眼後5分以上たってから、洗眼して洗い流してください。

<注意しましょう>

●他の人が使用した目薬は使用しないようにしましょう。●容器に記載されている使用期限は開封前のものです。開封後は1ヶ月を目処に、古くなったり、濁りのあるものは使用しないようにしましょう。●保存方法については、お薬によって異なりますので、医師や薬剤師に確認しましょう。

Q. 夜の点眼を忘れたことに、朝起きて気が付きました。どうしたらよいのでしょうか。

夜の点眼を忘れてしまったら、気が付いたときに点眼しましょう。ただし、前の日点眼を忘れたからといって一度に2回分点眼するのは良くありません。効果が増すわけではなく、副作用が多く出てしまう場合もありますので、1回分の決められた量を点眼してください。

Q. 目薬がちゃんと目に入ったかどうか心配です。確認できる方法はないのでしょうか。

目薬の種類にもよりますが、冷蔵庫で冷やした目薬をさすと、ひんやりするのでさしたかどうか分かりやすいです。ただ、冷蔵庫から出してすぐは冷たすぎて試してみてもかもしれませんので、容器ごと少し手で温めてからさすようにしましょう。

処方された目薬が、目に合わないと感じたり、目薬について、わからないことや不安に思うことがあるときは、自分で判断せず、医師や薬剤師にご相談ください。

特集2 患者さま満足度調査

当グループでは、基本理念である「患者さま第一主義」の実践を目的として毎年各施設で主に接遇に関する「患者さま満足度調査」を行っております。今回は、お茶の水・井上眼科クリニック、西葛西・井上眼科病院、大宮・井上眼科クリニックで行った最新の調査結果を報告いたします。

患者さま満足度調査結果

～当院の医療サービスはご満足いただけましたか？～

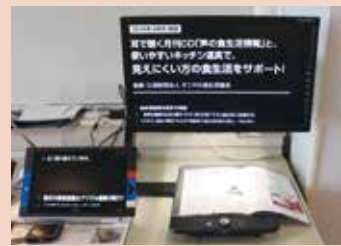


	調査期間	回答数
お茶の水・井上眼科クリニック	2017年 9 月 1 日～19日	1,020
西葛西・井上眼科病院	2017年10月16日～21日	1,579
大宮・井上眼科クリニック	2017年 9 月11日～16日	104

「第2回 見えにくさ相談会～日本点字図書館がやってくる～」を実施いたしました。（お茶の水・井上眼科クリニック）

8月に実施しました「見えにくさ相談会」の第2回目を実施いたしました。今回も社会福祉法人日本点字図書館の方々のご協力で、見え方にお困りの患者さまとそのご家族さまに向けて相談会を実施いたしました。見え方に配慮されたさまざまな便利グッズやタブレットに触れて、体験するコーナーを設け、さらに今回は視覚障害者生活訓練専門職員が、ルーベ、拡大読書器、白杖の活用方法をご紹介します予約制の相談会も実施いたしました。

ロービジョンの患者さまの一助を担えるよう、今後も継続してまいります。実施のお知らせは、院内の掲示物等でお知らせいたします。



黒白反転で文字を読むことができる拡大読書器

新副院長のご紹介



（西葛西・井上眼科病院）
田中 宏樹 副院長
（たなか ひろき）

この度、副院長に就任させていただくことになりました。専門分野は、網膜硝子体です。一人ひとりの患者さんに丁寧な診察、わかりやすい説明を心がけています。受診された患者さんが満足していただけるように、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

新入局医師のご紹介



○後期研修医

（お茶の水・井上眼科クリニック）
金原 左京
（かねはら さきょう）

後期研修医として、入局いたしました。患者さま一人ひとりに親身に寄り添い、優しく丁寧な診療を心がけてまいります。日々精進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

神尾記念病院との合同勉強会を開催しました。

井上眼科病院から徒歩3分ほどの場所にある耳鼻咽喉科専門病院の「神尾記念病院」と合同の勉強会を行いました。今回で4回目の勉強会です。当院からはぶどう膜外来を担当する菅原道孝先生が講演を行いました。眼科と耳鼻咽喉科は関係の深い疾患があるため、お互いの専門とする疾患を学びあい、日々の診療に活かしてまいります。



ぶどう膜外来担当 菅原 道孝 医師

講演のご案内

加齢にともなう目の病気 ～白内障と加齢黄斑変性～

講師：井上眼科病院 院長 井上 賢治
日時：2018年3月1日(木)15:30～17:00
場所：よみうりカルチャー荻窪

※お申し込みや詳しい内容は「よみうりカルチャーホームページ」をご覧ください。

<http://www.ync.ne.jp/ogikubo/kouza/201801-18110105.htm>



おおはら眼科

大原 重輝 院長

2005年4月～2006年10月まで井上眼科病院在籍



奥戸メディカルモールの2階奥が入り口です。大原先生(前列右)と職員の皆さんと当院の井上(前列左)。

たい貴重な経験だったとおっしゃいました。

開業されて10年目となり、白内障手術(多焦点眼内レンズ、トーリックレンズ含む)、外眼部手術を中心に週2回手術行い、加齢黄斑変性や網膜静脈分子閉塞症に対する硝子体注射も行なっているようです。いつでも気軽にかかれて、笑顔でお帰りいただける、地域のかかりつけ医としての役割を全うしたいとおっしゃる大原先生。「井上眼科病院の『患者さま第一主義』を忘れず、患者さまを思いやり日々一生懸命に診療に取り組んでいきたいと思います。」(大原院長)